

# 藤沢にゆかりのある 音楽家たち

このまちに育ち、学び、生活する4人の名手たちによるアンサンブル



*Kumiko Eto*

*Kenichiro Yasuda*

*Shizuka Nakamura*

*Yoshiko Nakura*

2014

**3月8日** 開演14時30分(開場 14時)

会場 藤沢市民会館小ホール 〒251-0026 藤沢市鵜沼東8-1

料金 2,000円(全席指定席)

発売日 2013年12月1日(日) 午前9時  
※但し、発売日当日に限り、電話予約は午前11時から

販売所 藤沢市民会館…0466-23-2415  
湘南台文化センター市民シアター…0466-45-1550  
チケットぴあ…<http://pia.jp/>  
0570-02-9999 (Pコード 213-244)  
財団HPより…<http://www.f-mirai.jp/arts/>

主催・お問合せ  公益財団法人 藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課  
tel.0466-28-1135

後援 藤沢市・藤沢市教育委員会

出演

名倉淑子 ヴァイオリン (VI)

恵藤久美子 ヴァイオリン (VI)

中村静香 ヴィオラ (Vla)

安田謙一郎 チェロ (Vc)

演奏曲目

モーツァルト作曲

ディヴェルティメント ニ長調 K.136

ハイドン作曲

弦楽四重奏曲 第67番 ニ長調 Op.64-5「ひばり」

ドヴォルザーク作曲

弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調 Op.96「アメリカ」

# 藤沢にゆかりのある音楽家たち

～このまちに育ち、学び、生活する4人の名手たちによるアンサンブル～

文化的な土壌、大らかな風土…ここ藤沢市、湘南エリアは、古くから世界的に高い評価を受ける音楽家や音楽教育者を数多く生み、育て、その伝統は、今に続いています。長年にわたって音楽家として活躍している在住者も多く、彼らは日本のみならず、世界においても著名な名手たちばかりです。これほど豊富な人材を輩出している都市は実はめずらしいことをご存知でしたか。その音楽家たちが、まちのために、市民に向けて、子どもたちに向けて、音楽を届けたいと夢を描いています。

今回は、そのような藤沢・湘南にゆかりのある音楽家たちによる「地域密着型・還元型」の演奏会を開催し、市民・子どもたちとの交流を図りたいと思います。そして、彼らも子どもの頃から演奏し、ホッとしながら家路に着いたであろう、そんな懐かしい藤沢市民会館からこれからも素晴らしい音楽を発信していきたいと思ひます。

## Profile



### 名倉 淑子 Yoshiko Nakura ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。その後、奨学金を得てジュリアード音楽院に留学。同音楽院在学中、桐朋学園時代の仲間達と、東京クワルテットを結成。ジュリアード・カルテットのコーチの下、1970年、ミュンヘン国際コンクールおよびアメリカのコールマン・コンクールで共に

第1位、世界中の脚光を浴びる。東京クワルテットのメンバーとして世界各地を演奏旅行、数々の国際フェスティバルに出演、ドイツグラモフォンでのレコーディング等で活躍。東京クワルテット退団後、主にアメリカ、ヨーロッパを拠点に演奏、教育の分野で活躍。ベルギーのアンフィオン・カルテットに招かれ演奏活動、Deccaとのレコーディングを行う。ニューヨークのリンカーンセンター・チェンバーミュージックソサエティーの招きで度々出演。一方で、フィラデルフィア・ミュージカルアカデミー及びスミス・カレッジにて後進の指導に当たる。その後、ドイツのハンブルクに居を移し、ドイツを中心にヨーロッパ各地で活躍、数々のオーケストラと共演。その間、ルドルフ・ゼルキン主宰のマルボロ音楽祭にも参加。また、ハンブルク・コンセルヴァトワールで後進の指導に当たる。81年よりハンベルグ交響楽団のゲストコンサートマスターに就任。同時にハンベルグ弦楽五重奏団のメンバーとしても活躍。88年帰国。ヨーロッパで活躍する音楽家達で結成されたニッポン・オクテットのメンバーとして、また、水戸室内管弦楽団、及びサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして活躍した。現在、フェリス女学院大学音楽学部特任教授、桐朋学園大学で後進の指導にあたる。定期的リサイタル、室内楽シリーズ等、幅広く活躍中。湘南・茅ヶ崎市在住。



### 中村 静香 Shizuka Nakamura ヴィオラ

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。全額スカラシップを受けアスペン音楽祭に参加。文化庁芸術家派遣在外研修員として、ジュリアード音楽院に留学。第52回日本音楽コンクール第1位。及び増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞受賞。第29回海外派遣コンクール特別表彰。第3回日本国際音楽コンク

ル入賞。鷺見三郎、海野義雄、小林健次、川崎雅夫、ドロシー・ディレイの各氏に師事。1994年より99年まで、旧奏楽堂に於いてベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲連続演奏会全10回を開催、併せて邦人作曲家の作品も積極的に紹介する。これまでに、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団等、各オーケストラと共演し、各地の音楽祭にも出演している。ヴィオリストとしては、2003年に大垣音楽祭でソロ・デビューを果し、最近ではヴィオリストとしても活躍の場を広げている。また、2年に1度開く自主企画のリサイタルでは、ヴァイオリン曲とヴィオラ曲を織り交ぜるなど、意欲的なプログラムを展開している。CDは、「フランク、サン＝サーンス：ピアノ五重奏曲/桐五重奏団」(MM-1102)、「シューベルティアード～寺嶋隆也とともに～」(ART-3125)、「シューベルティアード～ふたたび(ピアノ:深澤亮子)」(ART-3131)がリリースされている。現在、桐五重奏団、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。ソロ、室内楽で活躍しているほか、東京音楽大学准教授、フェリス女学院大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。藤沢市立辻堂小学校、湘洋中学校卒業。



### 恵藤 久美子 Kumiko Eto ヴァイオリン

1971年桐朋学園大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを鷺見三郎、鷺見健彰、海野義雄氏に、室内楽を黒沼俊夫、齋藤秀雄氏に師事。第41回日本音楽コンクール第2位入賞。72年、兄・堤剛と「二重奏の夕べ」(東京、カナダのオンタリオ)、2004年、06年、08年中野洋子氏と「デュオコンサート」、03年より毎年12月に深澤

亮子、安田謙一郎氏と「ピアノ、ヴァイオリン、チェロの夕べ」を開催。東京フィル、新日本フィル、札幌響、山形響と共演。桐朋学園オーケストラなどアマチュアオーケストラとの共演も多数。75年より10年間桐五重奏団の2ndヴァイオリン、80年より2年間山形響の客演コンサートミストレス、現在アンサンブル・アル・ス・ノバのコンサートミストレスを務める。桐朋学園大学特任教授。桐朋学園子供のための音楽教室 鎌倉分室弦楽科主任、仙川教室弦楽主任補佐。日本音楽舞踏会議員。藤沢市立片瀬小学校、片瀬中学校卒業。



### 安田 謙一郎 Kenichiro Yasuda チェロ

斉藤秀雄、ガスパール・カサド、ピエール・フルニエに師事。1965年第34回日本音楽コンクール第1位を受賞。翌年、ロストロポーヴィチ、フルニエに勧められ第3回チャイコフスキー国際コンクールを受け、第3位入賞。69年ルツェルン音楽祭合奏団のソリストとして日本、ヨーロッパ、アメリカ、カナダの演奏旅行に同行する。74年香港、サンフランシスコにて小澤征爾と共演。75年より桐朋学園で後進の指導にあたる。水戸室内管弦楽団のメンバーとして活躍。86年に結成した安田弦楽四重奏団では、80曲におよぶハイドンの弦楽四重奏曲全曲演奏、ベートーヴェン年代順室内楽作品の演奏会などのコンサート活動を続け、高い評価を得ている。日本現代音楽協会、日本音楽舞踏会議、日本・ロシア音楽家協会、会員。今回、共演する恵藤久美子とは、2003年より毎年、深澤亮子とともに、「ピアノ、ヴァイオリン、チェロの夕べ」を開催。湘南学園小学校、藤沢市立鶴沼中学校を卒業。堤剛、恵藤久美子の父堤清に9歳から師事した。

## 公益財団法人 藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課

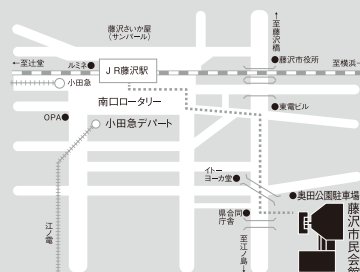
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-1 (藤沢市民会館内)

tel.0466-28-1135

※市民会館には駐車場はございません。奥田公園駐車場(有料)をご利用ください。

なお、駐車場の台数には限りがございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

<http://www.f-mirai.jp/arts/>



JR・小田急・江ノ電  
藤沢駅南口下車  
徒歩10分